



# 災害対策委員ブロックML活用企画！ 災害支援コラム

VOL.  
06

29 Sep, 2025

column

～ 期間限定配信「平時の備えコラム」VOL.6

“佐賀の豪雨被害から学ぶ / DPAT活動と地域連携による災害対策～”

今月のコラムを担当させていただきます佐賀県支部の辻本です。  
佐賀県は九州の北西部に位置しており福岡県と長崎県に隣接しています。『佐賀はなんもなか』を自他ともに認める佐賀県ですが、自然災害も少ない県の一つといわれています。台風の進路から外れやすく、地震発生も少なく、南海トラフ地震津波予報でも佐賀県は津波想定はなしといわれています。

ただ、近年全国各地で集中豪雨の増加による被害が多いなかで、佐賀県でも令和元年8月、令和3年8月と2度の大雨を経験しています。

令和元年の豪雨の時は「記録的短時間大雨情報」（数年に1度しか発生しないような短時間の大雨が観測された際に発表）、その翌日には「大雨特別警報」（数十年に1度の重大な自然災害が迫った際発表）が立て続けに発表されました。短期間に平年8月の月間降雨量を上回る雨が降り続けました。令和3年の豪雨では令和元年をはるかに上回る平年8月の月間降雨量の4倍超が降りました。2度も同じ地域が浸水被害にあっており地形的にも川の勾配が緩く海に流れるまで時間が遅い、満潮時と重なると内部氾濫が起こりやすいという地形の特色と予測を上回る長時間の雨量が原因といわれています。

令和元年・令和3年の豪雨時に開所された避難所等へ市町の保健師とDPATが派遣されることになり、業務調整員として職場の同僚と共に資機材のチェック、補充、活動時の後方支援に携わりました。

佐賀県では平成27年よりDPAT研修を年1回、2日間にわたり開催しており、研修後は任意ですが都道府県DPAT医療機関・隊員登録することができます。県協会員（支部構成員も含む）も医療機関に所属している者が多く業務調整員として登録しています。またDPAT研修会では業務調整員の講義・演習枠があり担当させていただいたりしています。

今回九州・沖縄ブロック災害対策連絡会が11月15日（土）佐賀県鳥栖市で開催されます。各県の取り組みを学べる機会ですので災害対策委員だけでなく佐賀県支部構成員にも周知し参加を促したいと考えております。

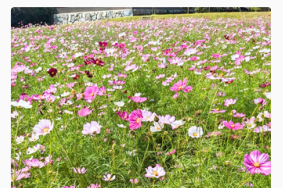
それぞれのブロックの災害対策連絡会にご参加いただきますようお願いいたします。



Editor's note

災害支援体制整備・復興支援委員会  
委員 辻本 泰子（佐賀県支部）

「災害時は平時の延長線上のことしかできない」といわれる様に、県協会として平時から十分な準備をしてきておらず、今このコラムも何を書こうか悩むほどです。2024年度より日本精神保健福祉士協会の災害支援体制整備・復興支援委員会に声をかけていただいたことで、委員の方の知識の豊富さ、他県の災害支援に対する取り組みに触れ、焦りと今から何から取り組もうかと...、まずは災害対策計画の見直し...DWATのことを県社協にたずねよう。わからないことは河合委員長にきこう！など日々思っております。



日本精神保健福祉士協会 災害支援体制整備・復興支援委員会